

原のり子さんはこんな人

子どものころ～共産党との出会い

暗くなるまで外で遊んでいる子どもでした。小学生のときにピアノを始め、児童合唱団に。法政女子高卒業後、プロ養成コースのある音楽院で、キーボード奏者をめざしつつ法政大学へ。戦争反対を貫いてきた共産党の歴史を学び、入党。その後、社会をよりよくしていく活動を裏方で支えたいと党の職員に。

産休中に市議候補の話が

3人目の娘が生まれて産休中に「市議候補に」との話が。「自分はタイプではない」と半年間悩みに悩んだうえで挑戦。1999年の初当選以来5期18年、市議会副議長、厚生委員、農業委員などを歴任。都立清瀬小児病院廃止反対運動、公立保育園を守る運動など、市民のみなさんと一緒にとりくんできました。

切実な問題にとりくむ

定数2の厳しい選挙で選ばれ、2017年以来、都議を2期8年。総務委員や厚生委員を歴任し、東京都社会福祉審議会委員も。福祉・くらし・人権など、行政支援が十分届いていない問題にとりくんできました。

いつも市民のみなさんに学ぶ

原さんの政治信条は、「政治を動かしているのは市民」。議員として運動から学び、議会で議論を行い、そこから行政側にも学びとってもらい、事態を改善していくことを大事にしています。忘れられない言葉があります。若いお母さんが、「原さんはいつも一緒に考えてくれる」と。

※詳しくはホームページへ

吉良よし子参院議員、 宮本徹前衆院議員とともに

一緒に訴える(右から)
吉良、宮本、原の3氏



HP



要求アンケート



ブログ



X



YouTube



原のり子事務所 東久留米市幸町3-6-3 電話／ファクス 042(476)2544

1965年東京生まれ、
東久留米市在住
夫と子ども3人の
5人家族
好きなものはピアノ、
水泳、紅茶、絵本

生きづらい社会をかえよう いのちと人権を守る都政に

原のり子

日本共産党都議会議員

北多摩4区 選出

(清瀬市・東久留米市)

市民の声と運動が 動かした！

- シルバーバスが改善へ
(年20,510円→12,000円)
さらなる負担軽減、運用改善を
めざします
- 全都で小中学校の給食費
を無償化
- 18歳までの子どもの医療
費助成の所得制限撤廃へ。
一部自己負担の解消へ全力

*日本共産党都議団と原のり子は、都民の運動と結んで繰り返し条例提案を行い、国会議員団や市議団と連携して、取り組んできました。

日本共産党

市民のみなさんと一緒に歩んで

原のり子都議は、都議会本会議、厚生委員会、予算・決算特別委員会などで多彩な質問をして、市民の声を議会に届けています。*いくつかを紹介します。



「多摩北部医療センターを良くする会」会長
井口信治さん
(東久留米市在住)

市民の声

原のり子さんは、市議会時代から、市民と一緒に行動される、市民思いの都議さんです。多摩北部医療センターに産婦人科設置の時も産婦人科の無い地域で苦労されている市民と一緒に東京都との交渉に臨んでくれました。障害者の問題でも然りです。



市民の声

障害のある子を育てる
安中知恵さん(清瀬市在住)

原さんには障害のある子を保育園に申し込むときに、最初に相談にのっていただきました。その後も特別支援学校バスのこと、かかりつけの多摩北部医療センターのこと、障害者の医療費のことなどたくさんの方の問題を取り上げてもらっています。原さんがいるからこの街で安心して住めます。



原のり子都議の思い

深刻な物価高騰、高すぎる医療費、長引くコロナの影響、不登校で悩む子どもたち、依存症に苦しむ若者たち…。誰もが生きづらさを抱えているのに、自己責任にさせられています。いのちと人権を何より大事にする、誰も排除されない社会をつくっていききたい、希望のもてる政治にしていかなければならない、と強く思っています。

私は、都議会議員を2期務めてきて、東京都が本気で都民に寄り添えば、もっとできることがたくさんあると実感しています。給食費無償化につづき、多摩格差解消をすすめ、市民のみなさんと力をあわせて切実な願いの実現へ、これまで以上に力を尽くす決意です。

原のり子

いのち・人権・くらし

- コロナ対策 後遺症相談窓口の設置を
- 保健所、児童相談所の人員増進。増設の検討を
- 多摩北部医療センターに産婦人科の設置が実現
- 障害者医療費助成、障害者雇用、余暇支援拡充を
- 依存症対策予算の増額、若者のSNS相談が実現へ
- 摂食障害支援拠点病院の設置と相談体制の実現
- 高すぎる国保税。負担軽減へ都の支援を
- 補聴器補助。26年度までに全都で実施が目標に
- 家賃補助創設、都営住宅増設を提案
- 賃上げ実現へ中小企業支援を。公契約条例制定を
- 不要不急の都市計画道路建設は見直しを。都道の歩道整備
- 都市農業への支援拡充。水と緑を守り、地域から気候危機対策、PFAS対策
- 清瀬、東久留米、秋津など駅のホームドア設置を要望
- パートナリシップ制度を実現
- 公立保育園の存続へ都の補助を求める
- 朝鮮学校に対する運営費補助の復活を
- 学校や自治体のプール、地域図書館の維持・改修への都補助を
- 不登校の子どもたちの居場所支援を提起、前進へ
- 高校授業料無償化、小中学校への少人数学級の推進
- 子ども食堂、フードパントリー支援強化を求める



平和

- 戦後80年。平和祈念館の建設
- 米軍横田基地、大和田通信基地の撤去
- 核兵器禁止条約への参加を国に求める
- 東京都は、非核平和都市宣言を

